

## 平成20年度県立常北高等学校自己評価表

目指す学校像	創立以来45年の歴史と伝統に基づき、校訓の「至誠、勤勉、協和」の精神を徹底させ、心身ともに調和のとれた人間形成を図るとともに、地域社会に貢献できる学校づくりを目指す。				
昨年度の成果と課題	重点項目	重点目標	達成状況		
<p>〈成果〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習指導の面では、学力向上スーパプランの少人数指導により、国語・数学・英語の各教科で、一人一人の能力に応じた基礎事項の徹底が図れた。</li> <li>・生徒指導の面では、校内巡視の実施により、生徒指導事故が大幅に減少し、遅刻者退学者も減少している。</li> <li>・進路指導の面では、きめこまかな指導の実施により、卒業生38名全員の進路決定をみた。</li> </ul> <p>〈課題〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習指導では、より一層分かりやすい授業の展開により、基礎学力の向上を図る必要がある。</li> <li>・生徒数の減少により部活動の運営が困難になっているので、部活動活性化のための教職員の共通理解が必要である。</li> <li>・全体的に生徒の積極性を伸ばす教育活動を展開する工夫が求められる。</li> </ul>	1	基礎学力の向上と学習意欲の喚起	① 計画的な教科指導を実施するとともに、少人数授業の展開に一層の工夫改善を図る。 ② シラバスや学習進度表を活用して、学習意欲を喚起する。 ③ 十分な教材研究や公開授業等を通して、わかりやすい授業の展開に努める。	B	
	2	挨拶の励行と規範意識の育成	④ 登下校時の挨拶、授業の始まりや終わりの挨拶、校内での挨拶を徹底する。 ⑤ 年3回の計画的な生徒面談や家庭訪問等により、生徒理解に努める。 ⑥ 頭髪・服装指導や遅刻防止等の徹底に努め、基本的生活習慣の確立を図るとともに、規範意識の育成に努める。	B	
	3	望ましい勤労観・職業観の確立	⑦ 3年間を見通した計画的な進路指導を実施する。 ⑧ 職場見学、キャンパス見学、2年次における生徒全員のインターンシップ等の体験的な活動を通して、進路意識の高揚を図る。 ⑨ 資格取得の奨励を通して、より確かな進路実現を図る。	B	
	4	特別活動の活性化	⑩ 生徒の部活動等への積極的な参加を促し、放課後の充実した過ごし方の指導に努める。 ⑪ ホームルーム活動や生徒会活動を通して、生徒の積極性を育成する。	C	
	5	地域から信頼される学校づくりの推進	⑫ ホームページや広報紙等の充実を図り、保護者・地域への積極的な情報の提供に努める。 ⑬ 学校評議員や地域の中学校等の意見を取り入れ、地域と連携した教育を推進する。 ⑭ 計画的に外部への公開授業を実施し、本校に対する理解の推進を図る。	B	
評価項目	具体的目標	具体的方策	評価	次年度への主な課題	
教科指導	基礎学力の向上と学習意欲の喚起	計画的な教科指導と少人数授業を効果的に実施する。シラバスの活用や教材研究・公開授業を通してわかりやすい授業を展開し、生徒の学習意欲を喚起する。 ①②③	B	B	・シラバスの活用に課題を残している。
国語	基礎的な国語力の習得	基礎的な漢字・語彙力を反復練習し身に付け、自分のものとして応用できる力を育成する。 ①②③	B	B	少人数クラスの授業で生徒の意識を喚起させるためにクラス組み替えなどの工夫を検討する。
	読書習慣の習得	読書する楽しみを身に付け、自らの読書体験を豊かにし、様々なものの見方、感じ方を知り豊かな人生を歩める基礎を育成する。 ①③	B		
	作文の基礎的な表記の習得	基礎的な文章表現の知識を学び、自分の考えや意見を正しく表現できる力を育成する。 ①③	B		
地歴	地理・歴史についての基礎的事項の理解の徹底	地図帳を地歴、公民のどの授業でも携行させて世界や日本の地理に親しませ、歴史や現代社会の基礎的事項の理解を深め定着をはかる。 ①③	C		・地図帳を携行させることが徹底できない

教 科	公民	現代社会の諸問題への興味・関心の喚起・解決についての考察	現代社会の基礎的な事項を学ぶとともに新聞を読んだり時事的問題についてのビデオ等を視聴したりすることで現代の諸問題への関心を持たせ、意見・感想等を書くことで、主体的な解決の方法について考えさせる。 ①②③	B	B	かったので、根気強く指導を継続していきたい。
	数学	基礎・基本の充実	基礎力テスト、夏休みの宿題を中心に基礎計算力が定着するよう継続的に指導する。 ①	B	B	基礎計算力が全生徒に定着するような指導法を研究する。
		生徒の能力に応じた指導	ほとんどのクラスで習熟度別学習を取り入れ、生徒の能力に応じた指導を展開する。 ①②③	B		
	理科	生徒の興味・関心を引き出す授業の展開	教科書の内容を身近な科学現象と結びつけたり、最新の自然科学に関する情報を紹介したりすることにより、生徒の興味・関心を引き出す。また、校外学習等を実施することにより、探究活動にも力を入れる。 ①	B	B	・実験・実習に関して、実施できる環境がなかなか作れなかった。教員一人でも行える実験等を模索する必要がある。
		基礎的内容の指導の徹底	実物や図表、視聴覚教材等を効果的に使用し、理解を深めさせる。また、問題集の活用や小テストの実施を通じた反復学習で内容を定着させる。 ①	B		
		観察・実験の充実	各科目年間5回以上の観察・実験を行い、器具等の基本的操作を身につけさせる。実験前学習を通して、観察・実験をより意義深いものとする。 ①	C		
		開かれた学校づくりに向けた情報公開	各科目ごとに年間計画ではなくシラバスを作成し、授業内容等を生徒及び保護者にきちんと知らせる。 ①②	B		
	保健 体育	健康の保持増進のための実践力の育成	健康や安全の課題に直面した時に、科学的な思考と正しい判断に基づく意志決定や行動選択を行い、適切に実践できるような資質や能力を養う。 ①	C	C	・生涯体育につながる授業の実践方法。 ・健康や安全の理解を深め、自他の健康の改善方法を学ぶ。
		体力の向上	自己の体力を知り、必要性を考えながら補強運動を実践することができるようにする。 ①	C		
		応急手当と心肺蘇生法の習得	R I C E等様々な応急手当の方法を身につける。心肺蘇生法の実習を行い、自ら進んで実行できる態度を養う。(A E Dを含む) ①	B		
	音楽	音楽を愛好する心情の育成	音楽に取り組むために最低限必要な読譜力を向上させ、より積極的に音楽に取り組む態度を育成する。 ③	C	C	今年度の目標達成度をさらに高める。新学習指導要領の対応を研究する。
		感性の向上、創造的な表現と鑑賞の能力の伸長	十分な題材研究を行い、本校生徒の実情に即した題材に取り組ませる。 ②③	B		
			様々な楽器の奏法や作曲法・発声法を学んだり、音色や楽曲の美しさを感じ取らせることで創造的な表現能力を伸ばす。 ③	C		
	英語	基本的な英単語の定着	基本的な単語の書き取りの練習を継続的に行うことで定着させる。 ①	B	B	・文法事項の着実な定着につながる指導法の研究 ・海外派遣参加を促す機会の増強
基礎的な文法事項の理解		少人数やチームティーチングで授業を行うことにより、基本的な文法事項を理解させ、定着させる。 ①②	B			
外国への興味・関心の喚起		サイパンのカグマン高校との交換留学をきっかけに、外国への興味・関心を深め、コミュニケーション能力の向上を図る。 ①	C			
家庭	基礎的・基本的な知識・技術の習得	日常生活に必要な基礎的な知識を習得するとともに、実験・実習を通して、調理や被服製作の基礎的・基本的技術を身に付けさせる。 ①③	B	B	・実験実習の内容を更に精選し、基礎基本の定着を目指す。	
	検定の実施による知識・技術の習得・向上	食物技術検定4級の受験を通し、基本的な知識・技術を習得させる。また、フードデザイン選択者については、知識・技術の向上のために、上級を受験し合格を目指す。 ①③	B			
情報	情報を活用する実践力の育成	マルチメディアやインターネットを活用した実践力と、情報の収集・発信を通しての問題解決力の向上を図る指導を展開する。 ①	A	B	・携帯電話を使用したインターネット利用時のモラル向上に繋がる授業展開の検討	
	情報社会における望ましい態度の育成	著作権や情報モラル等の情報倫理を身に付ける指導を展開する。 ①	B			

商業	検定試験による技術習得	ワープロ実務検定試験，電卓実務検定試験を通し，技術を習得させることを目指す。①	B	B	・基礎学習に加え，応用的な内容を取り入れる工夫。
	ソフトウェア利用の技術の習得	ワープロソフト，表計算ソフト，画像編集ソフトの利用方法を学習する。身近な事柄を文章化，作表できる力を身に付けさせる。①	B		
	総合的な学習の時の	外部講師による進路ガイダンスや面接指導を積極的に採り入れて，生徒の進路希望実現に向けた方策を計画的に実施する。また，社会規範の基となるマナーを学び，健全に社会生活を送る自覚を育てる。④⑥⑦	A		
道徳	マナーの修得と自他を大切に作る心の育成	自他の生命や人権を尊重し，思いやりの精神を持たせる。社会の一員としての自覚を持たせ，公共心を育む。公開授業を年2回実施する。夢を育み，自己実現に向けて努力する心を養う。外部講師を活用する。⑥⑭⑮	A	A	各授業とも高い意識で実施することができた。
教務 (含渉外)	授業時間の確保	出張・年休の場合は，振り替えに努める。特編時間割のルールを明確化する。①②③	B	B	・外部への公開授業を定着させ，地域への理解を深める。 ・教員同士の授業参観を定着させたい。 ・さらにネットワークセキュリティの信頼を高める検討。
	公開授業の実施	外部への公開授業を計画的に行い，本校への理解を深める。①⑭	B		
	学年や各部との連携	学年・各部・各教科との連携を図り，行事をスムーズに進める。①⑪	B		
	校内研修・シラバスの充実	校内研修やシラバスを充実させ，教師としての資質を高める。①②③	C		
	ネットワークの管理	ネットワークセキュリティの強化に努め，パソコンの管理・運用・整備に努める。①	B		
	P T A 活動の活性化	P T A 行事への参加率を高めるための環境を整える。役員を中心に緊密な連絡を取り，企画・準備の推進を図る。⑫⑬	C		
生徒指導 (含特別活動)	挨拶の励行への協力	P T A 支部を中心に生徒の登校指導を行い，挨拶やマナーの充実を図る。⑬	B	C	・生徒指導事故の未然防止や遅刻の防止に努める。 ・部活動の活性化を図る（全員部加入制の導入等の策）。
	基本的生活習慣の育成	1 早朝校内外立哨指導や校内巡視等における挨拶の励行運動を行う。④⑤⑥	B		
		2 面談や集会を通し，時間守ることに対する意識を高揚させる。（遅刻・欠席の防止）⑤⑥	C		
		3 頭髪・服装指導の徹底と規則の遵守（喫煙等生徒指導事故の防止）。④⑤⑥	D		
	交通安全教育の推進	自転車・バイク安全点検の徹底。交通安全講話の実施。校外立哨指導の充実。④⑥	B		
部活動の充実	部加入率の増加を図る（体験入部の充実・教職員の相互理解及び協力）。⑩	C			
学校行事の円滑な運営	ツールド常北・クラスマッチ・芸術鑑賞会の円滑な運営と充実に努める。⑪⑫	B			
進路指導	進路意識の喚起	進路講演会・面接練習・マナー講習等を通して自分の将来について自ら選択し準備する力を育成する。⑧⑨	B	B	・「進路のてびき」を活用しやすいものにしていくための検討。 ・進路準備の書類作成がスムーズにいくよう努力する。
	基礎力テストの充実	各種検定試験，就職，進学試験の合格をめざし，基礎的な力を習得する。⑦	B		
	面接指導の徹底	進路決定に向けて自己表現の仕方，マナーを習得する。⑦	B		
	インターンシップの充実	2年次において自分の進路選択のためのインターンシップを体験し自分の適性・興味を知る。⑧	B		
保健厚生	保健管理・保健指導の徹底	健康診断の事後措置や日々の保健指導を通じ，健康についての自己管理の意識を高める。⑥	C	B	・健康についての自己管理意識を高める。 ・生徒保健委員会活動の活性化。
		外部講師による保健指導を行うことにより，性教育，薬物乱用防止教育の充実を図る。③	B		
		保健委員会の積極的な活動についての指導・助言を行う。⑪	C		
	健康で安全な学校環境の整備・美化	ゴミの分別等について啓発活動を行い，意識の高揚を図るとともに，環境美化に努める。⑪	B		
		施設設備の安全点検を行い，安全管理に努めるとともに，安全についての意識を高める。⑬	B		
防災計画の立案と防災教育の推進	美化委員会の積極的な活動についての指導・助言を行う。⑪	B			
奨学生募集についての積	防災組織を編成し防災講話・避難訓練等を実施することにより，非常時に適切な行動がとれるようにする。⑬	B			
	募集について随時担任と連絡を取り合い，多くの生徒が活用できるよう積極的に呼びかけ	B			

	極的な広報活動 問題行動や悩みについての相談活動の充実	る。 問題行動等について担任と連絡を取り合い、早期発見に努め、必要に応じて学校医や専門機関へ紹介する。	⑫ ⑤	B	
第3学年	基本的生活習慣の確立	遅刻カードの利用により、遅刻防止や時間厳守の態度を身に付けさせる。早朝の立哨指導を行い、挨拶の励行ときちんとした服装の着用を促す。HRや授業、生徒指導部とうまく連携しながら、指導の徹底を図る。	④⑤⑥	C	B ・遅刻防止及び服装規定厳守のための方策の検討 ・学習習慣を身につけさせる指導方法の研究 ・より広範囲での就業機会の開拓
	基礎学力の向上と進路指導の徹底	HRや面談、総合学習の時間等を有効に利用するとともに、外部講師による進路ガイダンスや面接指導を積極的に採り入れて、生徒の進路希望実現に向けた方策を計画的に実施する。少人数授業や課外、毎日の漢字テスト等で基礎学力向上を図り、進路指導部と連携を深めながら、全員が進路決定できるように指導する。	①⑦⑧⑨	B	
	リーダーシップの育成	最上級生として学校を背負っていることを常に自覚させ、毎日の生活や学校行事、部活動を通じて社会生活でも活用できるリーダーシップを育む。	⑩⑪	B	
第2学年	基本的生活習慣の確立	遅刻カードの利用により、遅刻防止や時間厳守の態度を身に付けさせる。早朝の立哨指導を行い、挨拶の励行ときちんとした服装の着用を促す。生活の記録を毎日つけさせ、自分の生活を見つめ直す機会を与える。	④⑤⑥	C	B ・遅刻防止及び服装規定厳守のための方策の検討 ・進路意識の高揚。 ・基礎学力の向上。 ・面接指導の充実。
	基礎学力の向上	朝のSHR時に漢字練習テスト、計算力テスト等を実施することにより、基礎学力の向上を図る。家庭学習を毎日必ず行わせるように指導し、学習習慣を身に付けさせる。	⑦⑨	B	
	知的好奇心の喚起	朝のSHR時に漢字練習テスト、計算力テスト等を実施することにより、基礎学力の向上を図る。家庭学習を毎日必ず行わせるように指導し、学習習慣を身に付けさせる。	⑦⑨	B	
	豊かな心の育成	マナー講習会を実施し、他人に対する思いやりの心を礼の形で表現する事を学ばせる。またLHRの時間を有効利用し、友情や自他を大切にすることを育む。	④⑥⑭	B	
第1学年	基本的生活習慣の確立	遅刻カードの利用により、遅刻防止や時間厳守の態度を身に付けさせる。早朝の立哨指導を行い、挨拶の励行ときちんとした服装の着用を促す。	④⑤⑥	C	B ・遅刻防止及び服装規定厳守のための方策の検討 ・漢字練習テストの実施方法の検討 ・成績不振者への指導方法の検討
	基礎学力の向上	朝のSHR時に漢字練習テストを実施し、漢字検定3級以上の取得を目指す。学習習慣を身に付けさせる。また授業を大切にすることを指導を行う。	①⑨	B	
	進路意識の喚起	担任による面談、進路ガイダンスや進路情報伝達を適切に実施しながら、生徒の進路意識の向上を図る。	⑦⑨	A	
	豊かな心の育成	マナー講習会を実施し、他人に対する思いやりの心を礼の形で表現する事を学ばせる。LHRや道徳の時間を有効利用し、友情や自他を大切にすることを育む。	④⑥⑭	B	

※評価基準： A＝大変良く達成できた。 B＝よく達成できた。 C＝普通である。 D＝やや不十分 E＝不十分